

1 概要

令和6年10月に、本市と前橋市農業協同組合は、「前橋市環境配慮型農業～脱プラスチック・脱メタン～宣言」を行った。都市魅力アップ共創推進事業を活用して2年間の協定を締結し、以下の取組を実施した。

- (1) Jークレジット制度の推進（水稻の中干し期間の延長によるメタンガス排出量削減）
- (2) 水田からのマイクロプラスチック流出防止対策（肥料に含まれるプラスチックの流出防止）

2 取組内容・実績

【Jークレジット制度の推進】

(1) 令和6年度

- ・ Jークレジット制度に関する農業者向け説明会、意見交換の実施
令和7年2月21日、3月11日実施 約80人参加

(2) 令和7年度

- ・ 中干し期間延長の実証試験（2法人）
取組者2法人へ「水稻の中干し期間延長実施者支援金(3万円)」を支出
試験結果を米麦農家76経営体へ情報提供

【マイクロプラスチック流出防止対策】

(1) 令和6年度

- ・ 農業者を対象とした脱プラスチックに関するアンケート調査
305経営体中156経営体が回答
- ・ マイクロプラ流出防止に係るチラシ作成・配布による啓発活動

(2) 令和7年度

- ・ マイクロプラ捕集用ネットの無料配付、ネット効果に関するアンケート調査
ネット及びアンケートを26法人へ配付し、18法人が回答
- ・ 環境関連イベントへの参加
令和7年11月22日 環境政策課主催「まえばしこどもエコフェスタ」で
マイクロプラ等の啓発

※取組の詳細は、—1のとおり

3 今後の展開等

引き続き、メタンガス削減の取組やマイクロプラ流出防止の啓発を行いながら、乾田直播や秋耕等の新たな環境に配慮した農業の研究を進める。

- ・ 【継続】水田温室効果ガス低減推進事業 200,000円
- ・ 【新規】乾田直播普及促進事業 100,000円

※乾田直播に取り組む農業者との情報共有、普及啓発に向けた講習会等を開催

※乾田直播…水田に水を張らず、種もみを直接まく耕作方法

※秋耕…秋に翌作のための土づくりをすること